

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月14日

事業所名 放課後等デイサービス事業所ゆいまーる

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|--|----|-----|---------|--------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | | さらに広げる計画有り |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | | さらにPT/OTを確保したい |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | ○ | | | 今後の教育課題 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | | × | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | × | | いずれ実施したい |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | | さらに機会を増やしたい |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | | × | | さらに専門性を高めたい |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | | × | | さらに専門性を高めたい |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | | × | | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | | × | | 振り返りをもっと密にしたい |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている | | × | | ガイドラインの読み合わせが必要 |

| | | | | | | |
|----------------------|----|---|---|---|--|---------------------------------------|
| 関係機関 や保護者 との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | ○ | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | × | | いずれ医療的ケア児・者の支援ができる施設にしたい |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | | × | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | ○ | | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | ○ | | | MJのダンスプランナーによる育みダンスを通して高齢者施設との交流を実施した |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | ○ | | | 理事長が重心部会の副会長に就任している |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | | |
| 保護者 への説明 責任等 | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | | × | | 検討したい |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | | × | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | × | | 現在、保護者会はないが、保護者との交流会は必要だと認識している |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | ○ | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | × | | 今後、取り組んでいきたい |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--|------------------|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | | × | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | | × | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | | × | | 今のところ、そのような事案がない |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | | × | | 検討する必要がある |

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和2年3月14日

事業所名 放課後等デイサービス事業所ゆいまーる 保護者等数(児童数)15 回収数 11 割合 73%

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|-------------------|---|----|---------------|-----|-------|------------------------------|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 7 | 3 | 0 | 1 | | |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 9 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 8 | 2 | 1 | 0 | | |
| 適切な支援の提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか | 9 | 2 | 0 | 0 | 実際の支援を見ていないので判断できないという意見があった | ・保護者と一緒に活動する機会を設ける必要がある ・連絡帳や広報に工夫がいる |
| | 5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか | 9 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 5 | 4 | 1 | 1 | | |
| 保護者への説明等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 9 | 2 | 0 | 0 | | |
| | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 9 | 2 | 0 | 0 | | |
| | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 8 | 3 | 0 | 0 | | |
| | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 3 | 5 | 2 | 1 | | |
| | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 8 | 2 | 0 | 1 | | |
| | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 10 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 8 | 3 | 0 | 0 | | |
| 14 個人情報に十分注意しているか | 10 | 1 | 0 | 0 | | | |
| 非常時等の対応 | 15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 8 | 2 | 0 | 1 | | |
| | 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 8 | 2 | 1 | | | |
| 満足度 | 17 子どもは通所を楽しみにしているか | 10 | 1 | 0 | 0 | | |
| | 18 事業所の支援に満足しているか | 10 | 1 | 0 | 0 | | |

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

改善点

(1) アンケート結果

- ・ 父母の会は存在しないが、保護者等と本音で語り合う場を将来、設置したい。
- ・ 保護者とのコミュニケーションは、概ねできているが、保護者の相談に応えるまでには至っていない。
- ・ 「ゆいま〜る」に楽しく通所しているとの意見が多かったが、保護者が気を使って控えめに回答している可能性もあるので、この結果に満足せず、活動内容をさらに充実させていく必要がある。特に、地域との交流に工夫がいると感じた。

(1) 課題

イ 現在していること

- ・ 環境については、新社屋の建設を行っており、改善が見込まれる。
- ・ 専門性の向上については、研修の活用や先進施設の視察等で実施している。
- ・ 都城療育研究会に参加することで、関係機関との連携と情報共有・専門性の向上を図っている。
- ・ 都城市総合文化ホールのダンス事業である、はぐくみのダンスを月2回実施しており、そのつながりで外部のダンサーや音楽家のワークショップに参加したり、高齢者施設と交流したりできている。

ロ すぐ出来る事、しなければいけない事

- ・ 放課後等デイサービスガイドラインを読み込み、それに則った改善をしていく必要がある。
- ・ リスク管理の観点から、非常時に対する対応を整備していく。
- ・ 定期的な避難訓練を実施していく。
- ・ 人権擁護・虐待防止の観点から、身体拘束についての考え方を再確認する。
- ・ 事故防止の観点から、ヒヤリハットの活用を進めていく。
- ・ ホームページをさらに活用していく。
- ・ 地域住民に開かれた行事を企画する。
- ・ 利用者が地域と交流できる活動を企画する。

ハ 今後の課題

- ・ 障害児支援利用計画と個別支援計画との整合性を相談支援専門員等と連携しながら、さらにプロセスや様式を具体的に練りこみ、利用者ニーズや課題解決に効果的に取り組めるよう整えていく。
- ・ 2023年ごろに、福祉サービス第三者評価を受審する。
- ・ 保護者会等のあり方を含めて、より効果的な保護者との連携方法を構築していく。
- ・ 医療的ケアが必要な重心の利用者の施設は不足しているので、医療との連携を図りながら、そのための施設の設置を模索する。